

口腔顎顔面外科解剖研究会主催  
第2回 口腔顎顔面外科解剖リサーチカンファレンス  
“顎変形症を学ぶ”

【日時】

2022年4月30日（土）午後7時（最大3時間まで延長あり）  
当日は開始10分前（午後6時50分頃）より入室可能となります。

【会場・参加費】

オンライン（Zoom）・無料

【目的】

『口腔顎顔面領域における臨床解剖』は、口腔顎顔面外科医の日常臨床において診断や手術に直接関わる非常に重要な研究・教育分野です。本リサーチカンファレンスでは同領域の臨床解剖研究を、日本中の口腔顎顔面外科医、またそれに関わる医療従事者と共有し、臨床解剖を診療に生かすことはもちろん、今後の新たな臨床解剖研究の発展へとつなげることを目的とする学術研究発表会です。

【リサーチカンファレンスのテーマ】

第2回となる今回は顎変形症に関する研究発表会を予定しています（小さな学会形式）。

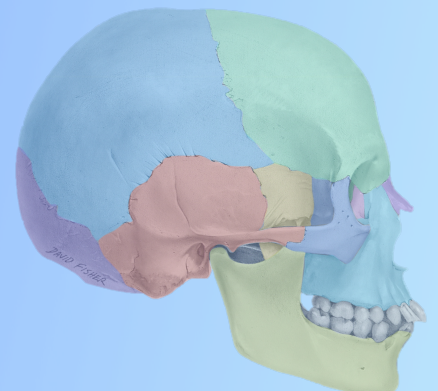
【対象】

顎変形症に関わる解剖・診断・治療にご興味のある医療従事者

【申込方法】

以下の link に必要事項を登録してください。

[https://zoom.us/meeting/register/tJYlcOuhqDkoE9N3JSpMXTBGxGFkm\\_mIDMFr](https://zoom.us/meeting/register/tJYlcOuhqDkoE9N3JSpMXTBGxGFkm_mIDMFr)



## アジェンダ

開会の辞・報告（岩永 譲 先生）（10分）

セッション1 一般演題（60分）

座長：岩永 譲 先生

下顎骨形成術が顎関節に与える影響の検討

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 顎口腔再生外科学 大場誠悟 先生

副下顎孔の臨床解剖

久留米大学医学部解剖学講座 肉眼・臨床解剖部門 拝形祐登 先生

当科で行っている IVSRO の紹介 –オリジナル IVSRO との違い、症例提示–

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔顎顔面外科学分野 小畑協一 先生

Sonographic Evaluation of Bone Formation After Sagittal Split Ramus Osteotomy

東北大学 大学院 歯学研究科 顎顔面・口腔外科学分野 三浦桂一郎 先生

当科における IVSRO 変法とその解剖学的考察

久留米大学医学部 歯科口腔医療センター 安陪由思 先生

下顎骨を基準とした脈管の位置・走行パターン

東京歯科大学 口腔病態外科学講座 菅原圭亮 先生

休憩 5分

セッション2 解剖学教育講演（20分）

座長：影山幾男先生

下顎管の解剖を再考する（15分発表+5分質疑応答）

Department of Neurosurgery, Tulane University School of Medicine 岩永譲 先生

セッション3 シンポジウム「顎変形症の臨床と解剖」（60分） 座長：伊原木聡一郎 先生

上顎骨を安全に骨切りするために知っておくと良いこと.合併症,偶発症を防ぐには？

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔顎顔面外科学分野 吉岡徳枝 先生

外科矯正手術に役立つ解剖学的特徴—ちょっと知っているといいかも—

山梨大学大学院総合研究部医学域 臨床医学系 歯科口腔外科学講座 上木耕一郎 先生

総合討論

閉会の辞

